

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英文学 (English Literature)					担当教員	関 義夫 (セキ ヨシオ)		
科目コード	2013011-030								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
イギリス小説の中から数作品を取り上げ、「小説を読むとはどのような行為なのか」ということについて、小説の技法に注目しながら考える。小説技法（リアリズム、意識の流れ、インターテクスチャリティ、視点など）に注目することにより、小説という虚構世界の人工性について理解する。 学期末試験のほかにレポート（課題）提出あり。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> ● 講義形式で授業を進める。 ● 15回分のプリント資料をまとめて配付するので、毎回必ず持参すること。 ● 指定図書からのレポート（課題）提出あり。指定図書については授業で指示する。 ● 授業中に紹介する作品については、図書館等を利用し、事前または事後に必ず目を通しておくこと。不明な文学用語は、図書館所蔵の文学辞典やインターネット等を利用して、各自、調べること。 									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 「小説を読むとはどのような行為なのか」について自分の考えを述べられる。 (ii) 小説技法（リアリズム、意識の流れ、インターテクスチャリティ、作者・テキスト・読者の関係、視点など）について理解できる。小説の「人工性」、「枠組みの恣意性」について理解できる。 (iii) 「読み」の多様性について理解し、自分の考えをレポート（課題）として提出する。									
⑥ テキスト（教科書）									
プリント資料使用（授業開始時に15回分をまとめて配付予定）									
⑦ 参考図書・指定図書									
ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』、マイケル・カニンガム『めぐりあう時間たち』 トマス・ハーディ『テス』、メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』（光文社古典新訳文庫） H.G.ウェルズ『タイムマシン』 上田和夫編『イギリス文学辞典』（研究社）									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%			35%		15%		100%
(i) 「小説を読むとはどういう行為なのか」についての自分の考え	30%							30%
(ii) 小説技法の理解	20%							20%
(iii) 「読み」の多様性の理解と自分の考え(レポート提出)				35%		15%		50%
フィードバックの方法	学習の進捗状況を見て、理解が十分でないと思われる項目に関しては、関連個所の追加プリントの配付や画像資料(プロジェクタ)を用いての解説も行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
<p>授業内容を記したシラバスを十分理解したうえで履修登録をすること。</p> <p>授業への出席だけでなく、授業時間以外に自分で自主的に行わなければならないレポート作成(指定図書を読んで自分の考えをまとめる)が要求されるので、よく考えて履修登録をすること。レポート作成は、かなり時間がかかります。作品の粗筋を書いただけのレポートは、合格点がつきません。</p>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間(分)	
1	イントロダクション (15回授業の概要等の説明)	筆記用具	「小説を読むとはどういう行為なのか」について自分なりに考えてみる。	60分
2	授業で取り上げる小説家たちについて	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号1~18を読んでもくる。	60分
3	レポート課題小説の粗筋について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号19~30を読んでもくる。	60分
4	小説の技法①(19世紀リアリズム小説)	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号31~35を読んでもくる。	60分
5	小説の技法②(20世紀初頭の実験的小説、意識の流れ)	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号36~30を読んでもくる。	60分

6	小説の技法としての「語り」の変化について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 40～48 を読んでくる。	60分
7	「視点」に関するモデルの一例紹介	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 49～60 を読んでくる。	60分
8	「作者」は消し去れるかという議論について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 61～67 を読んでくる。	60分
9	トマス・ハーディ『テス』について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 68～100 を読んでくる。	60分
10	『ダロウェイ夫人』と『めぐりあう時間たち』について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 101～106 を読んでくる。	60分
11	ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 107～121 を読んでくる。	60分
12	マイケル・カニンガム『めぐりあう時間たち』について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 122～136 を読んでくる。	60分
13	「作品（テキスト）」、「作者」、「読者」の関係について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 137～170 を読んでくる。	60分
14	文学作品の映画化について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 171～181 を読んでくる。	60分
15	まとめ	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 1～181 (15回分) 全体を読んで理解する。	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL

- 小説の技法についての基礎知識の確認及び定着を目指す。
- 指定図書からのレポート（課題）提出を求める。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性

